

くすりと健康のはなし

薬包紙

第47回

一般社団法人岐阜県薬剤師会
可茂薬剤師会

会長 若井完彦



「ダメ。ゼッタイ。」の言葉を開いたことがありますか。薬物乱用防止運動の標語です。薬物を乱用すると、人間にとって最も大切な脳を侵します。精神障害を発症し依存症となり、ダメージを受けた脳は深刻な後遺症を残します。だから「ダメ。ゼッタイ。」なのです。

薬物には、①病院・医院・薬局で扱う医療用薬品、②薬局・ドラッグストアなどで販売されている薬品（OTC薬品）、③工場や研究室などで扱う薬品、④塗装等に使うシンナーなどの有機溶剤があります。これらは法律で定められています。

薬物乱用に使用される薬品には、覚醒剤・塩酸コカイン・MDMA・LSO・2CBなどの合成薬品。また、あへん麻薬・大麻・向精神薬・有機溶剤・危険ドラッグなどがあります。新聞やテレビなどで報道されている危険ドラッグは、ハーブに含まれる物質が化学薬品であり、薬物として法律で規制されています。あへん麻薬や向精神薬は、医師の診断のもと適正に処方・

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

使用されますが、医療用薬品やOTC薬は、その用法用量を守らず、多量に継続使用すると薬物乱用となってしまう。

脳にはたくさん神経細胞があり、体のコントロールや心臓や肺などの臓器を動かしています。脳が破壊されると、幻覚や妄想によって反社会的行動を起こしたり、運動機能の低下によって交通事故を起こしたりします。また、内臓機能低下では中毒を引き起こしたり、感情のコントロールが利かなくなったりします。

薬物乱用を続けていると同じ量では効かなくなり、やめたくてもやめられなくなります。壊れた脳は元に戻りません。わたしたちの脳は、20歳頃までに成長するといわれています。特に、小学生や中学生、高校生の時期は心身ともに発達します。学校や家庭など、先生や家族、友達といった身近な人と話し合うことで、知識や物事の考えが身に付く大切なときです。薬物乱用は、一回でも「ダメ。ゼッタイ。」ダメ。人生を台無しにしてしまいます。